

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公開番号】特開2011-186754(P2011-186754A)

【公開日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-038

【出願番号】特願2010-50967(P2010-50967)

【国際特許分類】

G 06 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/048 6 5 4 A

G 06 F 3/048 6 5 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月12日(2012.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のオブジェクトからなる元のドキュメントから新たなドキュメントを生成する表示用データ生成装置であって、

上記オブジェクトの識別情報と上記オブジェクトの表示順を示す情報とが対応付けられている表示順情報を生成する手段と、

上記元のドキュメントから上記表示順情報に含まれるオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出手段と、

上記オブジェクト抽出手段が抽出したオブジェクトを上記表示順情報が示す順番に並べて新たなドキュメントを生成する表示用データ生成手段と、を備えることを特徴とする表示用データ生成装置。

【請求項2】

上記表示順情報を生成する手段は、上記元のドキュメントに対して、ユーザが指定した経路に沿って表示画面を動かした際に、当該表示画面に上記オブジェクトの少なくとも一部が表示される順番を上記オブジェクトの表示順として特定することを特徴とする請求項1に記載の表示用データ生成装置。

【請求項3】

上記表示順情報を生成する手段は、上記元のドキュメントに対して、ユーザが指定した経路に沿って表示画面を動かした際に、当該表示画面に上記オブジェクトの中心が表示される順番を上記オブジェクトの表示順として特定することを特徴とする請求項1に記載の表示用データ生成装置。

【請求項4】

上記表示順情報を生成する手段は、上記元のドキュメントに対して、ユーザが指定した経路に沿って表示画面を動かした際に、当該表示画面に上記オブジェクト全体が表示される順番を上記オブジェクトの表示順として特定することを特徴とする請求項1に記載の表示用データ生成装置。

【請求項5】

上記表示用データ生成手段は、上記オブジェクト抽出手段が抽出したオブジェクトのサイズが、新たに生成するドキュメントを表示する表示部の表示画面サイズより大きい場合

、上記表示画面サイズに収まるように、上記オブジェクトのサイズを変更することを特徴とする請求項1～4の何れか1項に記載の表示用データ生成装置。

【請求項6】

上記表示用データ生成手段は、上記オブジェクトがテキストの場合、フォントサイズを小さくすることを特徴とする請求項5に記載の表示用データ生成装置。

【請求項7】

上記表示用データ生成手段は、新たに生成するドキュメントを表示する表示部の表示画面サイズ内に、上記表示順情報が示す表示順が連續している複数のオブジェクトが同時に元のサイズのまま収まる場合、当該複数のオブジェクトを含む1つのドキュメントを生成することを特徴とする請求項1～6の何れか1項に記載の表示用データ生成装置。

【請求項8】

請求項1～7の何れか1項に記載の表示用データ生成装置と、
上記表示用データ生成装置が生成した新たなドキュメントを表示する表示部を備えた表示装置と、を含むことを特徴とする表示用データ生成システム。

【請求項9】

複数のオブジェクトからなる元のドキュメントから新たなドキュメントを生成する表示用データ生成方法であって、

上記オブジェクトの識別情報と上記オブジェクトの表示順を示す情報とが対応付けられている表示順情報を生成する表示順情報生成ステップと、

上記元のドキュメントから上記表示順情報に含まれるオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出ステップと、

上記オブジェクト抽出ステップにおいて抽出したオブジェクトを上記表示順情報が示す順番に並べて新たなドキュメントを生成する表示用データ生成ステップと、を含むことを特徴とする表示用データ生成方法。

【請求項10】

請求項1～7のいずれか1項に記載の表示用データ生成装置を動作させるためのプログラムであって、コンピュータを上記の各手段として機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項11】

請求項10に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。